

令和3年度 第3回 徳島県企業局「戦略的経営推進委員会」（書面会議）

- 1 文書発送 令和4年1月31日（月）付け徳企局第516号
- 2 意見提出期間 令和4年2月3日（木）まで  
（回答 令和4年2月4日（金）付け徳企局第529号送付）
- 3 委 員  
濱尾 重忠（座長）（敬称略、以下同）  
粟飯原 一平  
坂田 千代子  
真鍋 恵美子  
中西 美月
- 4 議 事  
（1）企業局経営計画の改定について  
（2）令和4年度に向けた企業局の施策の基本方針について
- 5 送付資料  
資料1 徳島県企業局経営計画（改定案）について  
資料2-1 「徳島県企業局経営計画」の改定に係る主な変更点について  
資料2-2 徳島県企業局経営計画（改定案）  
資料3 令和4年度に向けた企業局の施策の基本方針について
- 6 議事概要  
会議開催に代えて書面による議事を行い、別紙のとおり意見及び質疑応答を行った。

## 第3回徳島県企業局「戦略的経営推進委員会」における委員からの意見・質問及び回答

番号	対象 議事	委員からの意見・質問の内容	意見・質問に対する回答
1	施策 基本 方針	小水力発電の導入と、その地域の災害との関係の検証が必要ではないか。	市町村等が事業主体となる小水力発電の導入支援に当たっては、関係部局と推進チーム体制を構成し、有望地点の選定や運営方法等の検討を行っております。 小水力発電設備を災害時の非常用電源として避難所等に電力を供給するなど、自治体の防災計画等に位置付けるとともに、引き続き市町村と協働し、災害時の被害想定を踏まえた電力供給について検討して参ります。
2	施策 基本 方針	川口ダム湖畔のにぎわい創出は良いアイデアであるが、利用者の利便を考慮した施設、設備は大丈夫か。	企業局では、川口ダム湖でドイツ・カヌー代表チームが事前キャンプを行った「東京オリ・パラ・レガシー」を継承し、ウォータースポーツ体験によるダム湖畔のにぎわい創出を図るため、カヌー・SUP発着場の整備を実施しております。 この事業では、既設護岸を改修し、車両通行が可能なスロープを設置するとともに、更衣スペースやシャワーを併設したトイレの改修を行っております。 今後とも、利用者の利便性を向上させる取組を継続して検討して参ります。
3	施策 基本 方針	藍場町地下駐車場へのAI・IoTの導入による経営者の利用が増加するメリットは。	藍場町地下駐車場は、指定管理者制度を導入し、指定管理者から固定納付金をいただいておりますが、その他、予め定めている利用料金収入計画額を上回る収入があった場合には、変動納付金が納付される契約となっており、新システムの導入による収益増を目指しております。 また、導入予定である「車番認識システム」では、ゲートレス、チケットレスによるメンテナンス、管理業務の省力化による経費の節減が見込めるだけでなく、駐車場の状況をスピーディに把握できるため、マーケティング活用も可能になると考えております。
4	経営 計画 改定	「自然エネルギーの導入の加速」はこれから最も重要だと考える。水力発電を長期的視点で考え、拡大していくために、環境保全にもつなげる山林の保全、水源に近い県有林の確保等を考えるべきと思う。	企業局の主要事業であります電気事業を安定的に運営していくためには、豊かな水資源の確保が必要不可欠であるため、ダム上流域における森林の「公有林化」及び「除間伐・植林等の整備」に対する支援を行っております。 今後とも、「水源涵養機能」や「二酸化炭素吸収機能」を有する森林の環境整備に対する支援を継続し、良質な「水資源の確保」に努めて参ります。

番号	対象 議事	委員からの意見・質問の内容	意見・質問に対する回答
5	経営 計画 改定	経営計画の改定について、前回の委員会（第2回）で出された意見を早速反映できている、充実した計画となっている。	<p>委員会では、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。いただいたご意見を経営計画に盛り込むことにより、より充実した内容に改定することができました。</p> <p>今後とも、本経営計画を企業局の事業運営の基本方針とし、県民生活の向上と地域社会への貢献に全力で取り組んで参ります。</p>
6	施策 基本 方針	人口減少、災害多発、新型コロナなど、社会の変化に対応した基本方針となっており、また理解しやすい表現となっている。	<p>「人口減少」「災害列島」「新型コロナ」の3つの国難に対し、企業局の経営資源に、DXやGXを織り込んだ各種施策を推進することにより、「脱炭素社会の実現」と「地方創生の推進」を図って参ります。</p>
7	施策 基本 方針	DX、GXなど、民間に先駆けて実験的な取組も積極的に取り組んでいただけるよう期待している。	<p>工水管路への振動センサー整備や藍場町地下駐車場への車番認識システム導入など、先端技術を積極的に活用した「DXの実装」を図って参ります。また、自然エネルギー導入に向けたワンストップ技術支援や新たな環境学習機会を創出するeブックの制作など、「GXの推進」を図り、脱炭素社会の実現に取り組んで参ります。</p>
8	経営 計画 改定	No.52「SNS等の活用」において、旧改正案の「50人以上フォロワー数増/年」の目標値が、「100人以上/年」に変わったことで、これまで以上にSNSを多用する若年層に事業活動を周知してもらえること、また、No.43「藍場町地下駐車場へのAI・IoT導入による機能向上」の取組を旧改正案時のR5導入予定を1年早めることにより、より早く駐車場事業の発展につながることを期待する。	<p>委員会では、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。いただいたご意見を経営計画に盛り込むことにより、より充実した内容に改定することができました。</p> <p>本経営計画を企業局の事業運営の基本方針とし、若年層を含む県民の皆様の事業活動への理解促進、そして、駐車場事業の経営安定化を図って参ります。</p>
9	施策 基本 方針	社会貢献の加速の点において、川口ダム湖畔にカヌー・SUP発着場の整備を進めていくことは、ダムが地域のシンボルのひとつになり、県南地域のにぎわいにもつながるのではないかと考える。	<p>企業局では、川口ダム湖でドイツ・カヌー代表チームが事前キャンプを行った「東京オリ・パラ・レガシー」を継承し、ウォータースポーツ体験によるダム湖畔のにぎわい創出を図るため、カヌー・SUP発着場の整備を実施しております。</p> <p>今後は、那賀町や関係機関と連携し、「カヌー・SUP発着場」や「川口エネ・ミュー」などの地域観光資源を活用したニューツーリズムの創出を図って参ります。</p>